

## 1 概要

サーモレース™の重荷重エッジ（HDE）は、ThermoDrive®（サーモドライブ）ベルトシリーズ 8050 および 8140 の接続方法として新しく特許を取得しています。サーモレース HDE は、ヘッドなしロッド保持システムで、ベルト下端からの挿入を可能とします。確実に適切に取り付けるため、以下の情報を使用します。



図 1: サーモレース HDE

## 対応ベルト／部品

サーモレース HDE は 8050 および 8140 シリーズで使用可能です。

## サーモレース HDE の使用可能な材質

材質	色	説明
ポリウレタン	青色	重荷重エッジ採用のフラットトップサーモレース、青色ポリウレタン
ポリウレタン	白	重荷重エッジ採用のフラットトップサーモレース、白色ポリウレタン
ポリウレタン A23	青色	重荷重エッジ採用のフラットトップサーモレース、青色ポリウレタン A23
ポリウレタン A23	白	重荷重エッジ採用のフラットトップサーモレース、白色ポリウレタン A23
Dura	青色	重荷重エッジ採用のフラットトップサーモレース、青色 Dura

## 使用可能なロッドの材質

材質	色	説明
アセタール	青色	青色アセタール
アセタール	白	白色アセタール
PK	青色	青色 PK

## 必要な工具および備品

- S8050 または S8140 のサーモレース HDE
- サーモレース HDE ロッド
- ソフトジョープライヤー
- マイクロセレーテッドニードルノーズプライヤー（取り外し可）

## 2 ロッドの挿入

1. ベルトをレースでつなぎます。対向するベルトエンドが、歯が露出せずに整列し、同一線上になっていることを確認します。

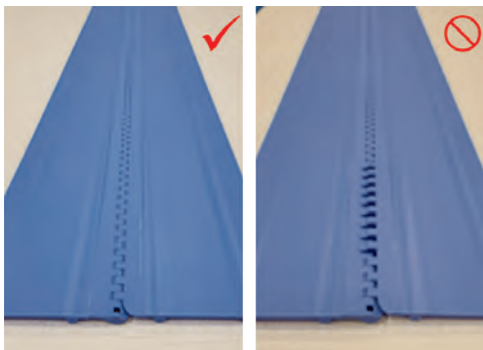


図 2: ベルトの正しい整列を確保

2. ベルト下端でのロッド保持「ダブル」キャプティブリンクを識別します。  
注: この「ダブル」エンドリンクにはロッドの取り付けにおける幾何学的な隙間が設定されています。
3. 隙間にロッドを挿入します。それ以上押し込めなくなるまで、ロッドを挿入します。ソフトジョープライヤーを使用すると、最後の 1 インチまでロッドを押し込むことができます。



図 3: ロッドを隙間に挿入

4. ロッドエンドがベルトエッジからおよそ 0.125 インチ (3.175mm) に止まっていることを確認します。



図 4: ロッドエンドがベルトエッジから 0.125 インチで止まっていることを確認

5. ソフトジョープライヤーをキャプティブリンクの上に置きます（ベルト長さに対して直角）。そして、適度な圧力でクランプします。

注: クランプしすぎないようにしてください。ピラージョーの端は、キャプティブリンクの内側エッジに、ある程度沿っている必要があります。

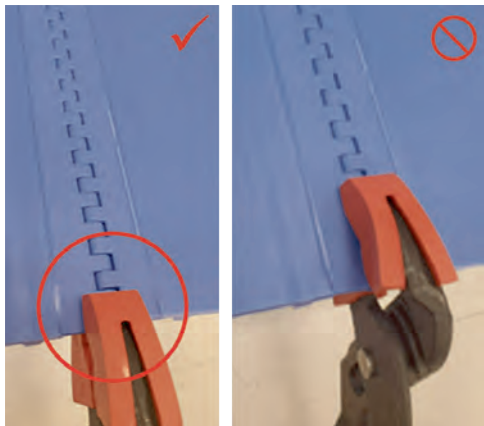


図 5: キャプティブリンクでソフトジョープライヤーをクランプ

6. ソフトジョープライヤーを使用し、ロッドエンドがキャプティブリンク内に完全に収まるまでベルトエッジを下向きに曲げます。

注: ロッドが所定の位置に収まると、カチッとした音が聞こえます。



図 6: ベルトエッジを下向きに曲げてロッドエンドを収める

7. キャプティブリンクの上部の覗き窓を使用して、正しいロッドの挿入を確認します。ロッドエンドは、レースの両端の覗き窓から見えている必要があります。

注: レースの両端にそれぞれ覗き窓（合計2つ）がついています。



図 7: ロッドエンドが両方の覗き窓から見えることを確認

### 3 ロッドの取り外し

1. ソフトジョープライヤーをキャプティブリンクの上に置きます（ベルト長さに対して直角）。そして、適度な圧力をかけます。

注: クランプしすぎないようにしてください。ピラージョーの端は、キャプティブリンクの内側エッジに、ある程度沿っている必要があります。

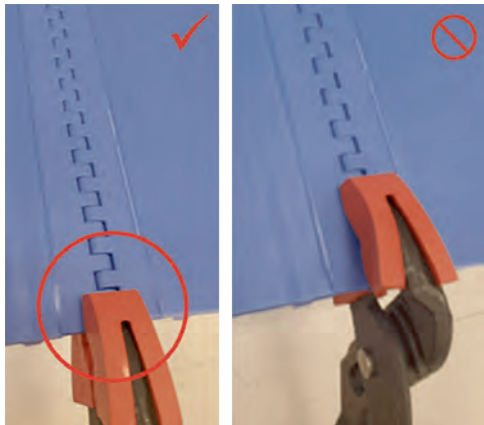


図 8: キャプティブリンクでソフトジョープライヤーをクランプ

2. ソフトジョープライヤーを使用して、ベルトエッジを上向きに曲げて、ロッドエンドをキャプティブリンクから離します。

注: ロッドが所定の位置に収まると、カチッとした音が聞こえます。



図 9: ベルトエッジを上向きに曲げてロッドエンドを捕らえる

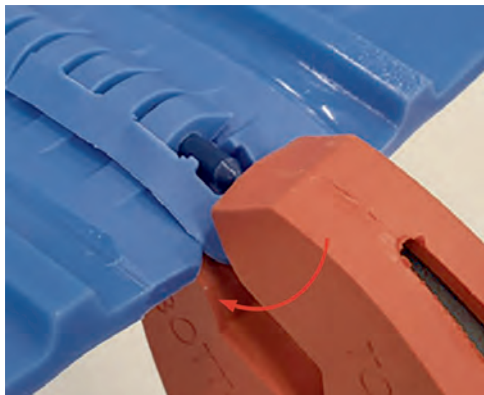


図 10: ロッドは、サーモレースの下側を上にして取り外すことも可能です

3. ロッドエンドは、今キャプティブリンクの外に出た状態です。

4. マイクロセレーテッドニードルノーズプライヤーを使用して、プライヤーの先端をリンクの切り欠きの中に入れ、適度な圧力でロッドをクランプします。

注: キャプティブリンクには、ロッドの両側に切り欠きがついており、ロッドの取り外しに使用されるマイクロセレーテッドニードルノーズプライヤーのための隙間ができるようになっています。



図 11: プライヤーを使用してロッドをクランプ

5. プライヤーを反時計回りにひねり（ベルトエッジ側から見て）、適度な圧力でクランプを保持し続けます。



図 12: 圧力を保持したままプライヤーを反時計回りにひねる

6. この位置で、ロッドエンドをベルト表面から離すように、下向きにねじります。適度な圧力でクランプを保持し続けます。

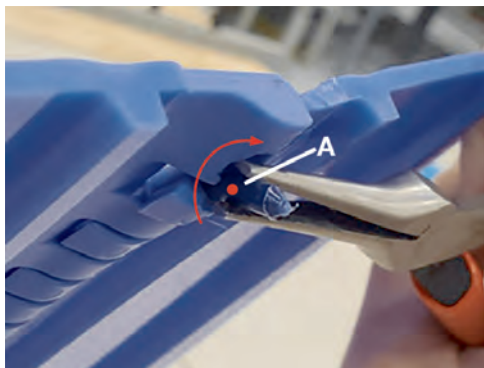


図 13: ロッドを下向きにひねって曲げ、ベルト表面から離します。

A: ドットは回転の中心を示す

7. ロッドを引き抜いて、ベルトを分離します。

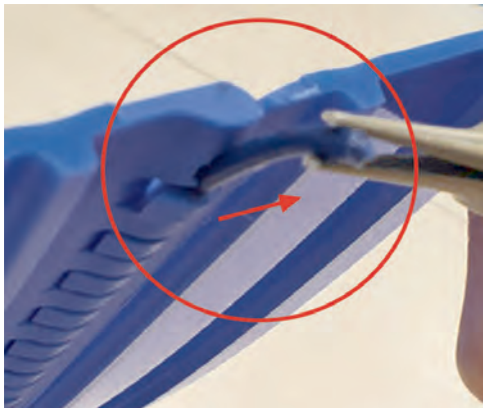


図 14: ロッドを引き抜いて、ベルトを分離

8. その代わりに、ロッドエンドとキャプティブリンクの間にプライヤーの爪を1つ入れて、ロッドエンドをつかむことができます。ロッドを完全に引き抜きます。



図 15: ロッドエンドとキャプティブリンクの間にプライヤーを入れてからロッドを引っ張ることも可能

9. 使用した工具を取り外し、ベルトを分離します。

---

## 4 追加のリソース

用途固有の推奨事項については、イントラロックスカスタマーサービスにお問い合わせください。

詳細なベルトとコンベアのガイドラインについては、[www.intralox.com](http://www.intralox.com) の『サーモドライブ技術エンジニアリングマニュアル』を参照してください。

**Intralox, L.L.C.USA**, New Orleans, LA • +1-800-535-8848 • +1-504-733-0463 • **Intralox, L.L.C.Europe**, Amsterdam, The Netherlands •  
+800-4687-2569 • +31-20-540-36-00 • **Intralox Shanghai LTD.**, Shanghai, China • 4008-423-469 • +86-21-5111-8400  
国および業界ごとの連絡情報は、[「www.intralox.com」](http://www.intralox.com)